

懇話会の内容決まる

当事者の思いが実る 認知症にやさしいまちづくりを

11月21日、第3回実行委員会が岡山県民医連事務局で行われました。この日は、来年9月27日～28日の「全日本民医連第9回認知症懇話会in岡山」の内容やスケジュールなどを決めました。

「認知症当事者の思い聴きたい」

実行委員会では県内院所や委員から寄せられたアンケートを参考に、まず基調テーマを「認知症にやさしいまちづくり」「認知症当事者の声を聴く」とし、具体的内容を検討しました。あるケースワーカーさんからは「認知症当事者の思いを、全国の参加者に聞いてほしい」といった意見や、「認知症の方に対する災害時対応の話があれば」と話す薬局法人の事務員さんなど、各委員は認知症に対する思いなどに触れながら熱く語り合いました。



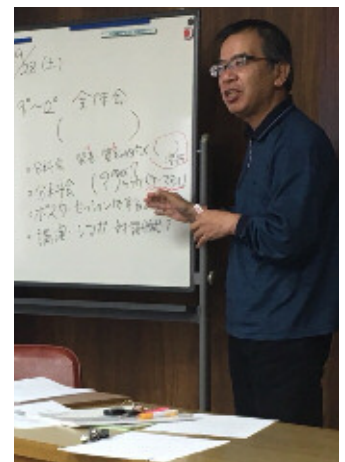
認知症を、様々な立場の人々と

こうした意見から、1日目(9月27日)の全体会で認知症の方への災害時対応を学び、演題報告では全国の実践を学び交流。2日目(9月28日)は当事者の率直な思いや悩みを聴き、さらに医療関係者や介護者、行政など様々な立場の人々を交えたシンポジウムを設けることとしました。また、基調テーマも踏まえて、当事者と

とその家族、共同組織の組合員・会員など、幅広い参加者を迎えることとしました。

演題80本、全国からのご応募を

演題報告にも注目です。これまでの懇話会で行われた口演に加え、前回好評だった報告者と参加者が交流できるポスターセッションも設けることにしました。演題数は80本程度で、来年4月頃から募集予定です。全国からの積極的なご応募をお待ちしています。



藤田実行委員長



ホームページ 立ち上げました

情報は順次
アップします

懇話会成功に向け、ホームページを立ち上げました。アドレスは「<http://okayama-kyoritsu.jp/konwakai/>」です。まだ、実行委員長挨拶しかありませんが、情報を順次アップしていきますので、ご覧ください。